



むらかみ

市議会だより

NO. 76

令和6年2月15日

| | |
|-----------------|----|
| [特集] 行政視察レポート … | 2 |
| 12月定例会 | |
| 一般質問…………… | 4 |
| 主な議案…………… | 11 |
| 議案の審議結果…………… | 15 |
| 議会の活動レポート…………… | 16 |
| 市民ヘインタビュー…………… | 20 |



緊張のいっぱく! 新年茶会

-山辺里保育園-

常任委員会の行政視察レポート

村上市議会では、他自治体等の先進の取り組みを学び、本市の市政に対する施策の提案などに反映させるため行政視察を行っており、今年度4年ぶりに開催しました。

総務文教

子どもや親が集う廃校活用

長野県佐久穂町では廃校となった旧校舎を活用し、子ども、母親、父親、家庭を支援することを目的とした佐久穂こどもセンター「やくほっこ」を開設しています。

子育て支援の拠点

同施設では、人格、能力形成に大切だといわれている妊娠期から幼少期にかけての子育て支援を行っており、子ども

の非認知能力(※)の発達に力を入れた行事を実施するほか、子どもや保護者の交流を促進することで、子ども同士、親同士の相互ケアを行っています。また、学童クラブと児童館、母子保健施設が併設された施設となっており、それぞれの活動や機能をつまくりンクさせ相乗効果を得ています。特に少子化により子ども

の遊びが孤立化傾向にある中、非認知能力の発達に力を入れた取り組みが特筆すべき点でした。また、母子保健事業や乳幼児の保護者の交流・相談事業等の一体化により、地域の子育て支援の拠点施設として成果を上げています。

本市での取り組みの可能性

本市でも子育て支援を目的とした廃校の利活用が進められています。今後は子育て中の保護者の多様な要望にも対応できるよう、教育と子育て、母子保健業務が連携して

行える多機能型の施設を検討すべきと感じました。



市民厚生

産学官の連携したまちづくり

人口急減や超高齢化社会等の大きな課題を抱える北海道長万部町は、再生可能エネルギーの活用等による地域の特徴を生かした自立的で持続可能な地域創生に向けて「産・学・官」の連携したまちづくりに取り組んでいます。

地域資源の利活用

長万部町は町内にキャンパスを持つ東京理科大学と連携

して、植物工場（ミニトマト栽培）を整備し、隣接の太陽光パネルの電力を蓄電池に貯めて、ハウスの電源に活用することや、町の特産品であるホタテ貝の貝殻を町内の工場で焼成し、サンゴの欠片とブレンドさせ、培地として利用する等、地域資源を活用した循環型社会の推進に貢献する取り組みを行っています。

多様な取り組みの成果

循環型の先進的な農業生産システムが構築され、販売体制が確立したことで、ミニトマトは長万部町の特産品として定着し、ブランド化されており、今後さらなる飛躍が期待されています。また、植物工場では雇用が生まれ、農福連携による障がい者雇用も実現しています。

本市においても広大な面積を生かし、再生可能エネルギーやAIを駆使して農業の魅力を発信し、全国から若者を

受け入れるまちづくりを推進する取り組みを提言していきたいと思えます。



※非認知能力とは？
数値で測ることのできない人間的な力で、協調性や忍耐力など、学力とは異なる能力のこと。

先進事例から得られ

経済建設

道の駅の在り方を探る

サケの魅力の世界に発信

道の駅「サーモンパーク千歳」は5年8月にリニューアルし、北海道が誇るサケの魅力や食文化、観光資源など日本はもとより世界へ発信することを目的とした施設です。物産コーナー・農産物直売所、グリルレストラン、フードコート、コンビニエンスストアの4つのエリアで構成されて

おり、今回のリニューアルでは、物産コーナー・農産物直売所を約2倍の面積に拡張しています。また、周辺を流れる千歳川には毎年サケが遡上し、インディアン水車によるサケの捕獲風景は千歳市の秋の風物詩となっています。

企画力の高さに感銘

サケを原材料にした調味料、箱菓子など自社開発のオリジ

ナル商品が約70種類販売されているのには感心しました。また、約80軒の地元農家と契約栽培をしており、大自然の中で収穫された新鮮な野菜が年間を通じ販売されているのも魅力の一つです。

オリジナル商品の開発のほかにも、従業員の接客教育の徹底もリーダーを増やすことにつながっていると感じました。

全国規模で「道の駅」の管理運営を行っている指定管理者（民間事業者）の企画力の

高さに感銘を受ける視察となり、本市における道の駅朝日のリニューアル計画に参考となる点が数多くありました。



■総務文教常任委員会

10月3日～5日

| 視察先 | 内 容 |
|-------------|---|
| 長野県 佐久穂町 | 廃校施設の活用 |
| 長野県 軽井沢町 | ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設（カーリング）を核としたスポーツコミッションの取り組み |
| 群馬県 富岡市 | 富岡製糸場 |
| 群馬県 前橋市 | 自動運転バスの走行実証 |

■市民厚生常任委員会

11月7日～9日

| 視察先 | 内 容 |
|-------------|-----------------------------|
| 北海道 室蘭市 | 室蘭市ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組み |
| 北海道 長万部町 | 長万部町と東京理科大学との連携したまちづくりの取り組み |

■経済建設常任委員会

10月24日～26日

| 視察先 | 内 容 |
|------------|---------------------------------|
| 北海道 千歳市 | 道の駅「サーモンパーク千歳」サケのふるさと千歳水族館 |
| 北海道 石狩市 | 道の駅石狩「あいろーど厚田」石狩市厚田マイクログリッドシステム |
| 北海道 江別市 | 消化ガスコージェネレーション |

12月定例会

一般質問は、市の行政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提案を行い、市民の声を市政に届けるものです。12月定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、掲載された原稿は質問者が作成しています。

一般質問

市政のことが聞きたい

1 **渡辺 昌**

1. 日沿道の延伸と道の駅「朝日」のリニューアル
2. ハッピーボランティアポイント事業

8 **上村正朗**

1. 村上大祭
2. 公共交通

2 **富樫雅男**

1. 防犯灯のLED化
2. 熱中症対策
3. 子宮頸がんへの対応

9 **市声クラブ 山田 勉**

1. 村上市スケートパーク
2. 畜産の悪臭対策
3. 梨木集落の豪雨災害復旧

3 **新政村上 長谷川孝**

1. 本市の抜本的な人口減少対策

10 **令和新風会 川村敏晴**

1. 森林環境税への取り組み姿勢
2. 今後の米坂線の存在意義

4 **高志会 鈴木一之**

1. 子どもを取り巻く安心安全な環境整備
2. 障がい福祉の充実

11 **鷺ヶ巣会 河村幸雄**

1. 「鮭のまち村上」の発信
2. イヨボヤ会館のリニューアル
3. 村上駅周辺のまちづくり

5 **令和新風会 高田 晃**

1. 村上市公共施設の適正な管理運営

12 **鷺ヶ巣会 鈴木いせ子**

1. 令和5年産の稲作

6 **菅井晋一**

1. 鮭・鮎の不漁対策と三面川の現状
2. 道の駅「朝日」

7 **稲葉久美子**

1. 少子化対策
2. 介護保険制度の改定
3. EV車の導入



道の駅の拡充計画に課題も



渡辺 昌

問 朝日温海道路の事業化の決定から10年ほど経過したが、開通時期の予測や、部分開通の可能性についての認識は。

答 事業工区内のトンネル掘削土を盛土材として有効活用するため、全体土量を調整しながら進める施工方法であり、未着工のトンネルもあることから、部分開通の区間や時期等を明らかにすることは難しい。

問 事業が順調に進んでも、メイン施設完成から朝日温海道路開通までに、5年以上の時間差が発生するのではないか。この期間は道の駅の充実を図る大変重要な時期と考えるが、温泉施設等の改修計画は。

答 拡充基本計画では既存施設を生かしながら、中・

長期的に整備する計画である。温泉施設については長期的な計画を作成した上で、改修も視野に入れながら進めていく。

問 メイン施設オープン後、既存の物産会館や食堂などは民間事業者により活用される計画だが、内容によっては道の駅全体の評価を高める事業が期待できる反面、メイン施設との競合、指定管理による運営との関係性など懸念されるが。

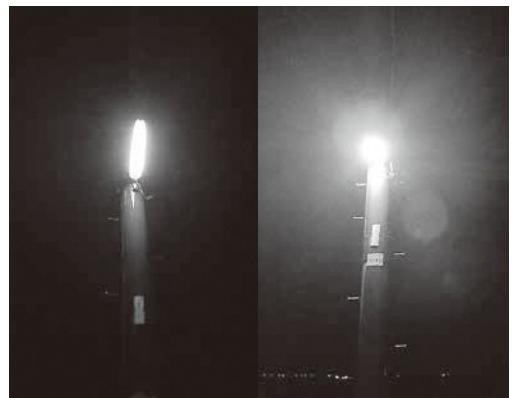
答 今年6月にサウンディング型市場調査(※)を実施し、現在精査しているところである。指定管理者については今後選定作業に入るが、新施設、既存施設、民間活用施設が相互に、道の駅全体を盛り上げていけるような仕組みにしたい。



物販や食の面で、いかに他の道の駅との差別化が図れるかが課題

※サウンディング型市場調査とは？ 行政と事業者との意見交換等を通じ、市有地などの活用等についての有用な意見やアイデアを収集するための調査。

防犯灯のLED化をさらに



やっぱりLED防犯灯は明るい

問 防犯灯の数とLED化の現状は。

答 11月末時点で9088灯あり、LED化率は47%となっている。

問 集落で防犯灯をLED化する際の補助はどのようになっているか。

答 市の設置基準を満たす場合に限り、経費の半額以内を補助しており、1灯当たり2万円、専用柱設置の場合は5万円を限度にしている。

問 現状の蛍光灯などの防犯灯を全てLED化した場合、電力料はどの程度削減できるか。

答 概算で年間1千万円ほどである。
問 ゼロカーボンシティを宣言している市として、更に積極的に切り替

えを図ってほしいと考えるが。

答 交換経費が掛かるが、優先順を考えながら計画的に切り替える。

問 今年の夏は猛暑で、市では熱中症対策の新たな取り組みとして、市内5カ所の公共施設を休憩所として開放したが、利用状況は。

答 期間中利用者は756人である。約70日で756人というところ、1日当たりわずか10人と少ない。来夏は各集落の集会所の利用など、市民に寄り添った対応を検討すべきでは。

答 検証しながら検討を進める。
問 子どもの屋内遊び場は夏場に37℃にもなり、利用される方から改善要望が多数寄せられている。冷暖房した休憩所(小屋)を遊び場の中に設置するなど、対応が必要ではないか。

答 提案も有効と考えるので検討を進めたい。



富樫雅男

抜本的な人口対策を問う

問 本市は、昭和30年の国勢調査の人口9万4284人をピークに減少に向かっている。それから約70年が過ぎ人口減少が進み、5年11月1日現在、5万4977人となった。未来を描ける行政運営を想起し、10年後には人口減少を食い止める抜本的な政策が必要と考えるが。

答 人口減少は、全国的に大きな問題であり、複数の課題が複雑に関係するため、ある分野に特化した政策で解決できるものではないことから、32の政策分野を総合的に展開し、「子



長谷川孝

育て」の政策分野を最優先事項と捉え、市民ニーズに合わせた施策を実施することが、人口減少の抑制や地域活性化に向けた重要な取り組みであると考えている。

問 人口減少対策においては「手厚い支援と他市に負けない強み」が重要であり、本市の強みは広大な面積であると考えている。この強みを活用して一次産業を活性化させるために、若い就農者に本市に来てもらえるような大胆な取り組みが必要だと考えるが。

答 農地と山林は本市の誇る大事な資源だと捉えており、その取り組みには期待できるものがある。現在、市外の企業が農業経営に対して大きな関心を持っている。大手の資本を活用しながら雇用拡大および若者の就農に結び付く施策を支援していきたい。



他市に負けない強みと手厚い支援による若者就農者受け入れによる人口減少抑制策を望む

児童生徒のメディア利用



鈴木一之

問 スマホ、タブレット等の使用においては、ルールを決めて使用することが必要不可欠である。スマホ、タブレット等の使い方によっては学習や身体に悪影響を及ぼす心配も聞かれるが、現状は。

答 各学校では、児童生徒に一人一台配布している端末（タブレット）の家庭への持ち帰りを行っている。デジタルドリル等での家庭学習の充実や連絡事項をいつでも確認できるなど端末ならではの活用がされている。一方で、家庭でスマホやタブレットを長時間利用することで睡眠時間が少なくなり、朝起きることができないなど、生活習慣が乱れてしまう児童生徒がいることや、SNSで乱暴な言



ルールを守り、正しいタブレットの使用を

葉遣いをするにより友人関係のトラブルが発生していること等の課題も報告されている。

問 対策および指導は。

答 動画やインターネットへの接続制限を5年2月より実施している。また、各家庭へは学校説明会や学校だより等でインターネットの利用ルールを親子で設定するよう呼びかけている。今後メディアアカウントローカル週間を設けるなど、利用時間についても親子で話し合う機会を設け、家庭におけるスマホ、タブレット等の利用ルールを確認するよう指導していく。各学校へも長時間利用による生活習慣の乱れや、SNSによるトラブルを早期に発見し、対応するよう指導していく。

公共施設の適正な管理運営



高田 晃

問 第一保育園、第二保育園、山居町保育園を統合し、村上総合病院跡地に移転する計画がある。規模が大きくなると、いろいろな問題が出てくることを心配している。現在の3園の定員を合計すると300人だが、統合保育園の定員は、

答 220人程度と想定している。

問 統合後の3園の跡地利用については何か考えているのか。

答 ことごとく課で、統合計画と同時進行で考えているが、今お示しする段階には至っていない。

問 学童保育所の方向性は、

答 南町学童保育所となんしようクラブは、学校の空き教室を活用した統合を検討している。神林学童保育



統合、移転が始まる保育園（第二保育園）

所は、6年度末に旧神納東小学校跡地への移転を予定している。朝日学童保育所は、空き教室や空き施設の活用について検討してきたが、市立小中学校の統合計画があることから、その進捗を注視しつつ空き校舎の活用も含め検討していく。

問 朝日学童保育所については、非常に手狭で環境的によくない。学校統合を見据えて、小川小学校の空き教室の利用を検討しているようだが、早めの対応が必要と考えるが、

答 朝日学童保育所は、定員を超えており、手狭な感がある。現在整備を検討しているが、小中学校の統合計画に大きく左右されるところもあるので、建物の耐用年数等も考えて整備を検討していきたい。

「またぎの家」の再建を求む



再建できないか。令和3年3月に火災で消失した「またぎの家」

問 朝日温海道路の道の駅「あつみの開業は、鼠ヶ関ICの開通に合わせて進められているが、道の駅「朝日」の9年度リニューアルオープンに合わせた部分開通の状況は、

答 部分開通の区間、時期等を明らかにすることは難しいと聞いている。一刻も早く経済効果や整備効果が発出されるよう、部分開通の要望を継続していく。

問 国との基本協定、用地買収はどこまで進行しているか。

答 「道の駅」の施設の配置や整備、管理運営、その協力体制等について、



菅井 晋一

5年5月9日付けで羽越河川国道事務所長と基本協定を締結した。用地買収は土地収用法の事業認定後、6年1月頃から行う。

問 「またぎの家」の再建は難しいと聞いているが、奥三面の歴史と文化、農山村の生活文化を伝えるメモリアル文化施設として再建を望むが見解は、

答 三面民家（またぎの家）は、リニューアルする道の駅「朝日」の構想の中で検討したが、これまでの利用状況や再建した場合の活用方法等を総合的に鑑み、道の駅「朝日」みどりの里エリアには再建しないこととした。またぎの家は奥三面タムの建設により集団移転を余儀なくされた三面集落の歴史、生活文化を後世に伝えるために移転移築したもの。その役割は「縄文の里・朝日」と共に後世に継承していく。

少子化対策は喫緊の課題

問 15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した合計特殊出生率は、令和3年で1・22となっており、県内でワースト3であるが、出生率が低い要因は。

答 非婚化、晩婚化、晩産化、価値観の多様化などさまざまな要因が複合的に関与していることが原因であると考えている。

問 出生率を引き上げ、人口減少を食い止めるには、労働条件の改善などが必要だと考えるが。

答 若い世代が子どもを産み育てやすい環境づくりと事業者が持続的に



子育て支援の一つとして、給食費の無償化を



稲葉久美子

事業を行える取り組みを進める。市では職場環境を改善することで、人材の獲得や定着が図られるよう補助制度を設けている。

問 子育て支援のため、①紙おむつの支給②医療費の無償化③給食費の無償化④高等教育の給付型奨学金などが必要と考えるが見解は。

答 ①はおむつ用品購入への助成制度を検討している。②は全国一律の制度創設と財源措置を引き続き要望していく。③は子育て支援の観点から、学校給食費の負担軽減策を実施している。また、国が無償化に向けた実態の把握や課題整理等を行うとしており、動向を踏まえた対応が必要と考えている。④は一定の環境整備がなされていると考えているため、市では、現在の貸与型奨学金や返還支援制度をより活用しやすくするための見直しを図っていく。

村上大祭の持続的发展を



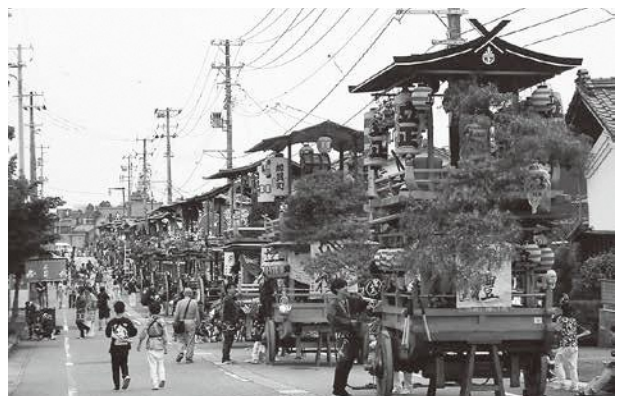
上村正朗

問 村上大祭の持続的发展のために市が積極的に支援を行うべきでは。

答 今後も村上大祭の保存・伝承に向けた取り組みを継続していく必要性を強く感じている。

屋台の保存・修理については、「村上祭保存修理委員会」において、文化財保存の観点から屋台等の修理方法について審議を行い、各町内に助言を行っている。屋台等の修理費用については国庫補助に加え、市補助金を上乘せして交付し、各町内の負担軽減に努めており、広報・伝承については、ホームページや郷土資料館で周知しているほか、写真や動画による記録保存を行っている。

引き続き、重要無形文化



伝統ある祭りを後世に残そう

財という国に認められた本市の大切な歴史文化であることを考慮し、柔軟性をもって支援していきたい。

問 村上まつり保存会の事務局体制の確立について支援するべきでは。

答 村上大祭の保存・伝承に関わっている生涯学習課の職員は現在1人であるが、限られた人員の中で、どこまで支援できるのか検討している。

問 財政支援も行うべきでは。

答 瀬波大祭や岩船大祭など他の伝統行事も含めて総合的に検討する。

問 本市の公共交通施策の方向性は、地域で地勢や交通資源が異なることから、それぞれの地域に合った交通システムを検討する必要がある。

畜産の悪臭対策への対応は

問 村上市スケートパークの建設には約15億5千万円掛かっているが、5年7月に鳥屋野潟公園内にオープンしたスケートパークの建設費は約4億円である。また、ネーミングライツ（命名権）を募集し、年額1300万円、5年間の契約が決定している。村上市スケートパークのアーリーナ広告

問 荒川地区では、畜産による悪臭に悩まされているとの声が市民からあるが、市の悪臭対策は。

答 市内で畜舎を設置する際には、公害防止協定を締結することとしている。事業者は公害防止対策に積極的に協力することとしており、臭気測定の実施や臭気対策設備の設置などをしていただいている。



山田 勉



梨の木川の現状

やネーミングライツ募集の現状は。

答 有料広告の募集は、企業に対し積極的にPRを行っているほか、上京時にも企業訪問を行い、企業版ふるさと納税の案内をしている。今年度は新規で3件の広告掲載をいただいた。また、ネーミングライツの募集は、導入に向け事務を進めている。

問 昨年の8月豪雨で被害を受けた梨の木川の堤防は、一部で土のうが積み重ねられた状態となっている。住民が安心できる復旧と堤防のかさ上げが必要であると考えるが現状は。

答 河川管理者である県に確認したところ、4年8月3日からの大雨による災害の復旧工事は全て完了していると聞いている。

米坂線復旧までの道のりは

問 荒川地区の住民が中心となり、米坂線の早期復旧のため、署名活動などを行う組織が立ち上がったが、市長の見解は。

答 「米坂線早期復旧と地域活性化を考える会」の取り組みは承知している。本市としては、米坂線整備促進期成同盟会を中心とした沿線自治体と連携し、早期復旧に向けた取り組みを進めている。

問 今後、この会の活動に参加していただき、市長の思いや考えを伝えてもらいたい。

答 ご案内をいただければ、時間の



いつの日か米坂線を走らせてみたい 今も荒川にあるD51



川村敏晴

調整が取れる限り、出席をさせていただきます、今の思いを伝えたい。

問 森林環境譲与税は、全国の自治体に譲与されており、森林がない自治体へも人口割で支給されている。市町村の所有する森林面積に応じた配分割合を増やすべきと考えるが。

答 現在、5割が私有人工林面積、3割が人口、2割が林業就業者数として配分されているため、人口が集中する都市部への譲与額が相対的に大きくなり、森林整備を実施する自治体への譲与額が相対的に小さくなっている。森林保全を進めるには、森林面積の多い市町村に十分な財源が確保されるべきと考えており、これまでも北信越市長会等で、配分基準の見直しについて要望をしている。また、私が座長代理を務める全国市長会の林政問題に関する研究会においても要請を行っている。

故郷の川へ鮭は帰ってくる

問 三面川の鮭が不漁のため、目標とする卵の確保ができず、来春放流できる稚魚の減少が懸念されるが現状は。

答 5年11月30日現在の捕獲尾数は3447尾であり、昨年同日では1万4826尾で、対前年比23%と過去に例を見ない捕獲数である。卵も目標の800万粒に届かず、150万粒超の見通しである。

問 県からの指導と今後の対策は。
答 目標放流尾数を確保するため、新潟県さけ・ます増殖協会をはじめ、県の協力のもと、北海道からの発眼



世界で初めて鮭の自然ふ化増殖を成功させた青砥武平治



河村幸雄

卵の移入と県内中小河川の余剰卵の調整を進めている。また、県では採捕数が激減した漁業協同組合等のサケ増殖事業の継続を図るため、卵の購入等に係る経費への支援を予定している。

問 村上駅周辺まちづくりの説明会では、どのような意見や要望があったか。また、若者の参画をどのように考えているか。

答 多かつた意見等はジャスコ跡地の利活用方法、統合保育園の整備、全体事業費についてであった。いただいた意見や要望は今後ホームページで公表していく。また、現在、大規模跡地の具体的な利活用についてのワークショップを検討しているが、さまざまな年代の参画を図るため、市内高等学校、専門学校および大学にご協力いただき、多くの学生から意見集約を進めたいと考えている。

令和5年産の稲作は



鈴木いせ子

問 今年の稲作は、高温と雨不足が続き前代未聞の収穫となった。異常気象による品質低下に対する対策は。

答 異常気象が常態化する昨今においては、土づくりの実践が重要である。加えて、多様な品種構成と作期分散によるリスク管理の実践、肥培管理や水管理による後期栄養の確保・維持を図ることが必要であることから、関係機関と協議しながら、実践に向けた支援を行っていく。

問 新之助は1等米比率が高かつたが、来年産に向けた品種の検討は。

答 新之助のような高温耐性品種の導入を選択していくことも重要だが、岩船産コシヒカリは、高い需要を満たす必要がある品種のた



営農支援システムの活用セミナー
(JAにいがた岩船)

め、気象変動に負けない栽培技術を推進していく必要があると考えている。

問 収入保険制度の加入状況は。
答 農業所得のある個人121経営体と法人35経営体で、加入率は9.3%である。

問 JAにいがた岩船が導入した営農支援システムへの市の関わりは。

答 人工衛星画像を活用した営農支援システムで、データをAIが解析し、最適な防除時期や収穫時期等を提案するものである。利用者は、速やかに営農全体の状況を精密かつ効率よく把握することができるため、肥料コストの削減、作業時間の短縮などが可能となる。市では持続可能な農業の実現のため、スマート農業技術の普及推進に努めていく。

3地区の告知端末機を 防災タブレットに入れ替え

議第116号 村上市情報通信施設条例の一部を改正する条例制定

神林、朝日、山北地区で使用している告知端末機を6年4月から順次防災タブレットに入れ替えるため、これまでの行政情報等を提供する通信サービスの廃止や使用料金を改定します。

問 告知端末機の代わりに配付されるタブレットで利用できるサービスや機能は。

答 屋外の拡声器で流れる防災情報をタブレットで受けられる。付加機能として、その区域内の加入者間の通話ができるほか、区長からのお知らせや情報を集落内に流すことができる。

12月定例会

令和5年村上市議会12月定例会は、12月5日から22日までの18日間の会期で開かれました。
この定例会には、市長から条例改正や補正予算など議案37件、議会側提案の請願1件と議員発議1件が提出されました。

旧ごみ処理場を解体

契約金額 8億6,625万円

議第125号 村上市旧ごみ処理場解体工事の工事請負契約の締結

平成27年に稼働を停止した旧ごみ処理場のごみ処理施設と粗大ごみ処理施設のほか、まゆの里等の付帯施設を併せて解体します。

問 ダイオキシン類やアスベストの除去作業にかかる費用は。

答 トータルでの契約金額であり、個々の費用については把握していない。

上海府デイサービスセンターの指定管理

議第126号 公の施設に係る指定管理者の指定

公募によらず、引き続き現在の指定管理者であるささえあいコミュニティ生活協同組合新潟を指定管理者とします。

問 前回より指定管理料が減額された理由は。

答 指定管理料と利用料金制の併用型の施設であり、4年度に特殊浴槽が導入され介護度の高い方も受け入れが可能になったことや、瀬波すみれ荘が廃止となった影響などによる利用料金の収益等を勘案して、今回の指定管理料を減額とした。

除雪機械11台の購入契約

契約金額 1億7,644万円

議第130号 11t級除雪ドーザ購入契約の締結
議第131号 11t級除雪ドーザ購入契約の締結
議第132号 8t級除雪ドーザ購入契約の締結

議題133号 8t級除雪ドーザ購入契約の締結
議第134号 8t級除雪ローダ購入契約の締結
議第135号 小形除雪車購入契約

除雪機械のリース期間満了に伴い、リース契約から購入に切り替えて更新します。

問 入れ替えの台数が多いが、リースから購入に変更した理由は。

答 財源的に非常に有利な国の緊急自然災害防止対策事業債の活用により、購入費用の面でメリットが大きいことや、神林支所脇の高速道路高架下に車両の保管場所が確保できたことから、購入することに決定した。

令和5年度 一般会計補正予算

部活動の地域移行を進めます

地域スポーツクラブ活動体制整備委託料 288万円

学校の部活動を地域移行するため、総合型スポーツクラブに委託する実証事業において、当初の見込みよりも増額となるため補正します。

問 地域移行に向けて、その受け皿となるいろいろな団体が実証事業を行っているが、進捗状況は。

答 現在12団体が融合型部活動ということで活動しており、6年度にはさらに3団体が活動する予定。当初予算では指導者謝金を延べ人数28人分で組んだが、今後59人分位まで活動が拡大する見込みとなり、今回の補正となった。



新設する通級指導教室にエアコンを設置します

小学校施設改修経費 609万円

村上南小学校とさんぽく小学校に新たに通級指導教室(※)を開設するため、エアコンを設置します。

問 村上南小学校に1教室を新設することだが、空き教室を利用して南町学童保育所となんしょうクラブを統合する計画に影響はないのか。

答 影響のない形での設置になる。

※通級指導教室とは？
小学校などで通常の授業のほか一部の授業を別の教室で受ける制度で、学習や生活で困難がある子どもたちのサポートを行います。

補聴器購入者の負担軽減を図る

軽・中等度難聴者補聴器購入費助成費 160万円

軽・中等度難聴者補聴器購入の補助申請の状況により、今後予算額を超過することが見込まれるため増額します。

問 申請件数が増えているとのことだが、その背景は。

答 高齢者の増加とともに、聴力の低下による認知症の予防や進行の抑制を図るといった面からも、補聴器の購入が増えている。

タブレット導入で保育園業務を支援

保育園運営経費 1,334万円

6年度からの保育支援システムの導入に向け、園内のWi-Fi環境整備とタブレット機器の配備を行います。

問 保育園でタブレットはどのように利用されるのか。

答 保育士が扱うもので、園児の登降園状況の管理や、これまでの帳面などへの手書きの作業をタブレットにより打ち込むほか、帳票の作成管理、発育健康管理などをタブレットに入力する。それらが必要に応じて保護者のスマホにアプリを通じて連絡するようなことを想定している。



市民ふれあいセンターの空調の不具合を点検

村上市民ふれあいセンター経費 748万円

電気料高騰分と空調設備の不具合による重油代の増加分を補てんするほか、空調設備の保守点検を行います。

問 以前から市民ふれあいセンターの空調の不具合が指摘されているが、今後の改修の方向性は。

答 今年夏前から不具合が顕著となり、一時的な改修ではなく根本的な更新が必要と考えている。現在、大規模改修のための実施設計を行っており、6年5月末にその結果がでるので、それらを基に具体的な工期等をお知らせできると思う。今のところ、2カ年度にわたる工事になると判断している。

神林有機資源リサイクルセンターを市の直営に

有機センター経費 1,491万円

指定管理者であった農事組合法人の解散により、新たな指定管理者が決定するまでの間を直営管理とします。

問 年度末までの補正予算であるが、年間を通しての収支が赤字となる恐れはないのか。

答 堆肥の処理料とその販売が収入となっている。これまでの決算状況を単年度で見るとある程度黒字で推移している。これまでは神林エリアに限定されていたが、今後は市内の販売先を拡大し、より多くの堆肥を販売できるよう進めていきたい。



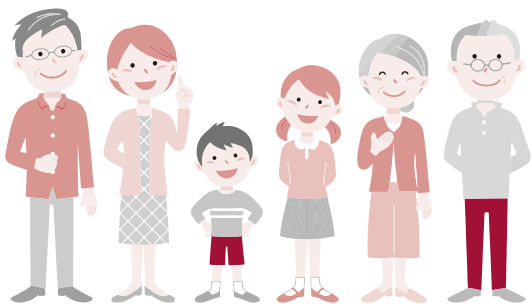
議会 改革

今年4月の改選から 議員定数を20人に

第4回定例会最終日に、議員発議により議員定数を2人削減し、6年4月の改選から20人とする議員定数条例の改正案が提出され、賛成14人、反対4人の賛成多数で可決されました。(各議員の賛否については15ページに掲載しています。)

意見募集(パブリックコメント)の結果は

議員定数を22人から20人とすることについて意見募集を実施した結果、17人の方から貴重なご意見をいただきました。ご意見をお寄せいただいた皆さま大変ありがとうございました。



- ・人口が減少しているため削減に賛成
- ・もっと削減してもいい
- ・村上市は面積が広いので削減に反対
- ・市民の代弁者である議員が身近にいてほしいため議員を増やすべき
- ・議員の資質向上が必要
- ・女性や若者の議員が必要

市民の皆さまからの意見に対して、市議会からの回答

議員定数について

- 本市と人口規模が類似する市議会の議員定数の動向や、現在20人で議会運営を行っている現状などを踏まえ、議会改革調査特別委員会の協議の中で、定数20人という結論に至りました。
- 議会の最高規範である村上市議会基本条例の前文に、「議会は、市民の意思を代弁する合議機関であることから、市民の多様な意見を代表できる特性を最大限に活かしていくために、市民の意思を的確に把握する仕組み・制度を整え、市民との対話を積極的に求めていく必要がある」と明記されており、議員定数が減少してもこの使命は変わりません。
- 今後も活力ある議会活動を目指し、議会基本条例の趣旨にのっとり、公正で民主的な市政の発展に寄与するため、議会の活性化に努めます。

資質向上について

- 村上市議会基本条例の第3条議員の活動原則では、「不断の研さんに努め、自己の資質を高めること」と明記されています。基本条例の趣旨にのっとり、今回のご意見を真摯に受け止め、議員活動を行っていきます。

多様性について

- 議員の平均年齢も高くなってきており、男女共同参画社会の形成の面からも多様性が求められています。子育て世代など若手の議員の成り手が立候補しやすい環境を整備することが重要です。
- その方策の一つとして、地方議員の厚生年金加入実現に向けた法整備を国に求める意見書を提出するなどの活動を行ってきました。また、女性の立候補者確保に向け、議会における産前産後休暇制度も整備されました。
- 6年度からはタブレット端末を導入し、委員会等へのオンライン出席についても検討していくこととしています。これからも多様性の実現のため、障壁を取り除く努力が必要であると考えます。

議案の審議結果

◎=全会一致で可決 ○=賛成多数で可決 ×=賛成少数で不採決

| 議案番号 | 議案名 | 結果 | 議案番号 | 議案名 | 結果 |
|---------|--|----|--------|---|----|
| 請願第8号 | 国に対し「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出について | × | 議第128号 | 公の施設に係る指定管理者の指定について（あらかわ保育園） | ◎ |
| 議員発議第8号 | 村上市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について | ○ | 議第129号 | 村上市水道事業及び簡易水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について | ◎ |
| 議第114号 | 令和5年度村上市一般会計補正予算（第6号） | ◎ | 議第130号 | 11t級除雪ドーザ購入契約の締結について | ◎ |
| 議第115号 | 村上市行政組織条例の一部を改正する条例制定について | ○ | 議第131号 | 11t級除雪ドーザ購入契約の締結について | ◎ |
| 議第116号 | 村上市情報通信施設条例の一部を改正する条例制定について | ○ | 議第132号 | 8t級除雪ドーザ購入契約の締結について | ◎ |
| 議第117号 | 村上市職員定数条例の一部を改正する条例制定について | ◎ | 議第133号 | 8t級除雪ドーザ購入契約の締結について | ◎ |
| 議第118号 | 村上市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について | ○ | 議第134号 | 8t級除雪ローダ購入契約の締結について | ◎ |
| 議第119号 | 村上市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について | ○ | 議第135号 | 小形除雪車購入契約の締結について | ◎ |
| 議第120号 | 村上市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について | ◎ | 議第136号 | 公の施設に係る指定管理者の指定について（山北ゆり花温泉・交流の館「八幡」） | ◎ |
| 議第121号 | 村上市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について | ○ | 議第137号 | 令和5年度村上市一般会計補正予算（第7号） | ◎ |
| 議第122号 | 村上市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について | ◎ | 議第138号 | 令和5年度村上市情報通信事業特別会計補正予算（第2号） | ◎ |
| 議第123号 | 村上市空家等の適正管理に関する条例及び村上市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例制定について | ◎ | 議第139号 | 令和5年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算（第1号） | ◎ |
| 議第124号 | 村上市印鑑条例の一部を改正する条例制定について | ◎ | 議第140号 | 令和5年度村上市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | ◎ |
| 議第125号 | 村上市旧ごみ処理場解体工事の工事請負契約の締結について | ◎ | 議第141号 | 令和5年度村上市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | ◎ |
| 議第126号 | 公の施設に係る指定管理者の指定について（上海府デイサービスセンター） | ◎ | 議第142号 | 令和5年度村上市介護保険特別会計補正予算（第2号） | ◎ |
| 議第127号 | 公の施設に係る指定管理者の指定について（村上市老人福祉センター） | ◎ | 議第143号 | 令和5年度村上市上水道事業会計補正予算（第2号） | ◎ |
| | | | 議第144号 | 令和5年度村上市簡易水道事業会計補正予算（第2号） | ◎ |
| | | | 議第145号 | 令和5年度村上市下水道事業会計補正予算（第2号） | ◎ |
| | | | 議第146号 | 村上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について | ◎ |
| | | | 議第147号 | 村上市手数料条例の一部を改正する条例制定について | ◎ |
| | | | 議第148号 | 令和5年度村上市一般会計補正予算（第8号） | ◎ |

各議員の賛否

議案審議結果のうち、賛否が分かれた議案について、議員の賛否を公表します。

◎：会派の代表者 *：会派の経理責任者

| 議案番号 | 鷲ヶ巣会 | | | 高志会 | | | 市声クラブ | | | 新政村上 | | 令和新風会 | | 渡辺 昌 | 稲葉久美子 | 鈴木好彦 | 富樫雅男 | 菅井晋一 | 上村正朗 | 賛否結果 | |
|---------|-------|--------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|------|------|------|----|
| | ◎大滝国吉 | *鈴木いせ子 | 河村幸雄 | ◎尾形修平 | *小杉武仁 | 鈴木一之 | ◎木村貞雄 | *本間善和 | 山田 勉 | ◎長谷川孝 | *三田敏秋 | ◎川村敏晴 | *高田 晃 | | | | | | | 賛 | 反 |
| 請願第8号 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | — | × | × | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 4 | 14 |
| 議員発議第8号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | × | 14 | 4 |
| 議第115号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 1 |
| 議第116号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | — | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | 12 | 6 |
| 議第118号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | 16 | 2 |
| 議第119号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | 16 | 2 |
| 議第121号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | 14 | 4 |

※1 議長は地方自治法第116条第2項の規定により表決に参加していません。

請願の審議結果

請願は本会議で採決が行われ、全会一致または賛成多数の場合、採択されます。

| 件名 | 請願者 | 紹介議員 | 付託委員会 | 審議結果 |
|--|-------------------------|-------|---------------|------|
| 国に対し「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出について | 日本国民救援会新潟県本部 会長 星野光弘 | 稲葉久美子 | 総務文教 常任委員会 | 不採択 |

陳情の審査結果

陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、常任委員全員の了承で、願意了承となります。

| 件名 | 陳情者 | 所管委員会 | 審査結果 |
|------------------------|---------------------------------------|---------------|-------------|
| 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情 | 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める新潟県民の会 代表 河内明美 | 総務文教 常任委員会 | 意見の一致を見なかった |

議会の活動レポート

地域を見る、聞く

着実な統合保育園整備を

10/16 市民厚生常任委員会

村上地区の保育園統合計画について、進捗状況を調査しました。

3園統合の経緯は

第一保育園と山居町保育園の2園を統合し、第二保育園を残す以前の計画から、3園統合へ変更となった経緯について説明を求めました。

平成28年11月策定の第2次村上市保育園等施設整備計画では、3園統合の計画でしたが、30年9月に民間法人から保育園整備の意向を受け、2園の統合を決定して、計画を進めていきました。

その後、令和2年11月に民間法人が保育園整備を取下げたことから、改めて建設位置の選定に入り、村上駅周辺大規模跡地の利活用の検討がされる中、3園とも開園から40年が経過している状況や、土地の問題なども考慮して、第3次計画では3園による統合保育園を建設する方針に至つ

たこのことです。

統合後の入園見込み数

ここ数年の出生数や途中入園数を加味して試算すると、3園統合による9年4月1日開園予定時の見込み園児数192人に、途中入園等17人を加味して、概ね210人程度を想定しているとのことでした。

今後、具体的な整備の方向性を注視していきます。



災害発生時の対応策は

11/21 経済建設常任委員会

当委員会では、4年8月の豪雨災害および12月の大雪による災害時の初期対応について、建設課、上下水道課を対象に調査を実施しました。

豪雨災害直後の対応

災害発生時、建設課は道路等の災害応急対策が主な業務となっており、応急復旧の対応については、災害協定を締結している村上市建設業協会に要請しているとのことでした。

また、上下水道課では各施設の状況に精通している維持管理業者や市内管工事組合の協力により、被害状況の把握と漏水等の緊急修繕を実施しました。広範囲に被害が発生したことから、県の関係部局との調整に多くの時間を要したとのことでした。

大雪災害への対応

建設課では気象庁が発する降雪量予報により、除雪業者に対して待機指示を行っています。指示

を受けた業者は降雪状況のパトロールを行うなど速やかに出動できる体制を整えています。また、電力会社と連携し、架空線を損傷する恐れのある樹木の除去なども、随時行っているとのことでした。委員からは、災害級の豪雪時に除雪を早急に全て行うことは困難であると思うが、連絡体制についてはマニュアル化するべきとの意見がありました。



公平な「学びの場」を

11/27

総務文教常任委員会

特別支援教育の実態について、また大雨により被害のあった保内小学校の復旧状況について調査しました。

特別支援教育の推移

特別支援学級に就学している児童生徒数の推移は、小学校では3年度まで増加傾向でしたが、その後は横ばいとなっており、中学校はまだ増加傾向にあるようです。

教諭免許の取得率は

特別支援教室を担当する教員の中で、特別支援学校教諭免許を有する教諭は16人となっており、保有率は24.6%。現行制度では、特別支援学校教諭免許取得を求める法令上の規定はありませんが、県教委でも取得率の向上に向けた取り組みが行われています。

卒業後の進路

4年度に中学校の特別支援学級に所属していた卒業生20人のうち、10人が全日制高校に入学。9人が定時制高校に

進学しており、1人が特別支援学校の高等部へ進学したとのことでした。

特別な支援を要する子どもたちの「学びの場」の状況を再認識しました。

保内小学校の復旧状況

学校施設の復旧状況については、被害にあった教室や廊下、グラウンドなどの修復が完了し、良好な教育環境の中で子どもたちが元気に学校生活を送っていました。



災害時における連絡体制の強化を高橋市長に要望

— 12月22日 —

経済建設常任委員会では、4年8月の大雨災害、12月の大雪災害時における初期対応の検証結果の把握と、その教訓を生かした今後の体制を確認することを目的に閉会中事務調査を実施しました。それを基に今後の災害に備えて、災害に直面した中でも市民生活の混乱を最小限とするため、市長へ「災害時における連絡体制に関する申し入れ」を行いました。



申し入れ内容

- ①災害応援協定に基づき、災害対策本部と建設業協会、水道関係事業者、電機通信関係事業者の連絡体制を再点検し、情報共有の迅速化を図ること
- ②日中、夜間を問わず災害の発生が懸念される場合は、各庁舎に適正な待機人員を確保し、市民の安心安全のため情報収集力と指揮系統の強化を図ること

佐藤重陽議員がご逝去されました

佐藤重陽議員が去る令和5年12月17日にご逝去されました。同議員は平成3年に初当選され、8期28年の長きにわたり住民の福祉向上と市政の発展のため尽力されました。この間、議会運営委員会委員長や総務常任委員会委員長などの要職を歴任され、多大なる貢献をされました。

ここに哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



村上高校

村上高校では、探究活動「村高イコボヤプラン」において、SDGsの理念に基づいた各種課題への考察を通じて、生徒一人一人の進路希望の実現につなげていきます。1学年では探究学習の基礎を学び、地域への関心を高め、知識を深める活動を行っています。

議員からアドバイス

10月27日、1年生121人が8分野（①防災、②スポーツ、③歴史、④地球温暖化と私たちの暮らし、⑤人口減少を考える、⑥地域包括ケアシステム、⑦幼児の未来を育てる、⑧新たな森林経営管理制度）に対し32班に分かれ、各班が決めたテーマごとに話し合いを行いました。

生徒の皆さんは、タブレット端末を活用しながら意見を出し合って課題を整理し、出席した議員8人のアドバイスにも熱心に耳を傾け、課題解決の糸口を探っていました。



各班の生徒へ議員からアドバイス

探究活動の成果を発表

1月12日、ポスターセッション形式で探究成果が発表され、いずれも大変良くまとめられていました。出席した議員からは「皆さんが感じた課題が地域にとどまらず国や世界につながっていると理解した。素晴らしい探究活動だった」と感想を述べました。

生徒の自己実現へ

この探究活動を通じて市政に関心を持ち、従来の価値観や規制概念にとらわれない高校生らしい新しい発想に期待します。そして議員からのコメントが、未来に向けた高校生への進路選択の一助になれば幸いです。

村上市の将来像を語ろう

高校生と議会の懇談会を開催

村上市議会では、村上市を担っていく若い世代である高校生を対象に、議員が市内4つの高校・中等教育学校に出向いて「高校生と議会の懇談会」を実施しています。今号では、村上高校と荒川高校の様子を紹介します。

荒川高校

11月22日、3・4年生25人と議員8人が出席し、市議会の役割と仕組みを議員から説明した後、生徒の皆さんと意見交換を行いました。

生徒各班の意見や要望は

▼商業施設を増やしてほしい
▼村上総合病院跡地の統合保育園設置によって各保育園の特色やイベントを失わない対策は▼坂町の水害復興の現状は▼岩船中学校だけ給食にスワイガニが提供された理由は▼狭い道幅でも車のすれ違いができるように除雪を改善してほしいが▼旧上海府小学校の今後の活用は

議員の回答は

民間企業進出は費用対効果が判断基準。他地域にない特色ある商業施設を目指すべき
▼統合保育園設置に対する意見を伝えていく▼住宅はほぼ復旧されたが、山の被災部分の復旧は数年かかる▼力二提供は地元住民と漁協によるこれまでの連携の賜物▼除雪は



追加意見も出された熱心な意見交換

地域の協力の輪が大切。市で地域に無償貸与している小型除雪機も活用してほしい▼旧上海府小学校の利活用は、さまざまな希望や意見があり検討中。地区の起爆剤となるべく地域の声が大切

現地を確認

荒川中学校校門前の道路への街灯設置や歩道の整備・除雪についてご意見があり、後日、現地を確認しました。今後の対応を検討しています。

生徒の皆さんに期待

このたびの懇談会に好意的な感想をたくさんいただきました。村上市の将来を担う皆さんの活躍が楽しみです。

市議会あれ・これ (5)

「村上市議会の手引書」より

村上市議会では、議会の取り組みを市民の皆さんにお知らせし、議会を身近に感じていただくため、「村上市議会の手引書」を作成し、ホームページ上に掲載しています。

議会だよりも手引書を基に、市議会についてわかりやすく紹介します。今回は、「議会に参加するためにはどうしたら良いかお知らせします。」

●選挙で参加する

市議会の議員は、市民によって直接選挙で選ばれます。選挙権は、日本国民で、引き続き3カ月以上その市に住所がある人が持っています。また、被選挙権は、その選挙権があり、年齢が満25歳以上の人が持っています。

選挙は、市民が議会を通して政治に参加し、市民の生活や村上市をよくするために、その意思を政治に反映させることができる最も重要な基本的な機会です。

●議会と直接意見交換する

議会では、議会基本条例に基づき、市民参画および協働を積極的に推進する観点から、市民との意見交換を

行っています

最近では、市内の高校を訪問して高校生との意見交換会を開催したり、まちづくり協議会や各種団体との意見交換を行っています。

●請願や陳情を行う

市民は、市議会に対し、市政への要望や意見または国・県などに対して要請してもらいたいことを「請願」「陳情」という形で、文書で提出することができます。

請願権は、憲法第16条に規定されている権利で、国民の基本的人権の一つです。

請願の提出には、地方自治法の規定により、紹介議員が1人以上必要です。陳情には紹介議員は必要ありません。請願書・陳情書の作成や提出に当たった詳細は議会事務局にお問い合わせください。



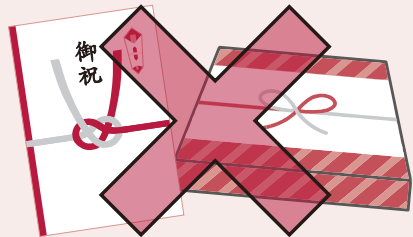
議会の手引書 <https://www.city.murakami.lg.jp/soshiki/1/gikai-tebikisyo.html>

政治家からの寄附行為は禁止

選挙の有無にかかわらず、政治家が選挙区内で寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者である市民の皆さんが求めることも禁止されています。

例えば、次のようなものが禁止されています。

- ・ 開店祝いなどの花輪
- ・ 地域の運動会などへの飲食物等の差し入れ
- ・ 結婚祝や香典（政治家本人が結婚披露宴、葬式などに自ら出席してその場で行う場合は、罰則が適用されない場合があります。）
- ・ お歳暮や年賀状（政治家が選挙区内にある者に年賀状や暑中見舞状などの時候のあいさつを出すのは、「答礼のための自筆によるもの」以外は禁止されています。）



詳しくは、総務省のホームページをご覧ください。
https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo08.html

**令和6年4月21日(日)は村上市議会議員一般選挙です。
大切な一票を生かすため、みんなで選挙に行きましょう。**

市民へインタビュー

食で、人と地域をつなげる

地域おこし協力隊

たかすき じゅん

高杉 淳さん (山北地区)



■自己紹介をお願いします

3年4月に着任し、現在3年目です。新潟市出身で、大学卒業後、旅行等の営業事務職やオーストラリアの現地企業に従事したりしていました。

■村上市を選んだ理由は

村上市山北地区に恩返しがしたかったからです。学生時代からまちづくりに興味があり、JOINという移住交流サイトで、幼少期から訪れていた当地区で地域おこし協力隊が募集されていることを知り、第二の故郷であるこの地の発展に寄与できたらと思いました。

■どのような活動をされていますか

「食を切り口とした地域づくり」をテーマに、浜新保集落・桑川集落・笹川集落で活動しています。地元の食から地域の魅力発信につなげるために、例えば、生産者にお話を伺いながら知識を深

めたり、住民の方と協力しての食のイベント企画、マスメディアやSNS等での情報発信、その他物産イベント出店や来訪者へのガイド等、さまざまな活動を行っています。

■こちらで生活した感想と今後の抱負は

当地区は、「宝の山」だと感じました。住民の親切な人柄、お裾分け文化、海・山・川の豊富な自然環境で採れる食材、集落ごとの特徴が詰まったお祭り、令和の今でも残っている日本の原風景など、経済指標では測れない豊かさが、ここには多く存在している印象です。6年3月で任期満了になるため、今はこれまでの活動についてまとめを行ったり、今後の活動について計画を検討・設計したりしています。

議会広報の在り方を意見交換

11月1日



福島県喜多方市議会より広報広聴委員会10名の皆様が、当市議会の議会だよりなど広報の在り方について行政視察に来られました。

喜多方市議会では議会広報の研修のため、毎年行政視察を実施しており、市民に対する議会広報の充実に取り組んでおられます。

視察では、議会だよりの編集における留意点や、議会広報の現状について説明をしたほか、当市議会が取り組む「高校生との懇談会」について特に関心を持たれ、多くの質疑がありました。

令和6年 3月定例会のお知らせ(予定)

| | |
|---------|------------------------------------|
| 2月6日(火) | 請願・陳情の提出期限(正午まで) |
| 20日(火) | 定例会初日(本会議) |
| 21日(水) | 代表質問(本会議) |
| 26日(月) | |
| 27日(火) | 一般質問(本会議) |
| 28日(水) | |
| 29日(木) | 総務文教常任委員会、一般会計予算 決算常任委員会総務文教分科会 |
| 3月1日(金) | |
| 4日(月) | 市民厚生常任委員会、一般会計予算 決算常任委員会市民厚生分科会 |
| 6日(水) | |
| 7日(木) | 経済建設常任委員会、一般会計予算 決算常任委員会経済建設分科会 |
| 8日(金) | |
| 12日(火) | 一般会計予算決算常任委員会 |
| 15日(金) | 定例会最終日(本会議) |

*この日程は変更されることがあります。
*開会時間は午前10時です。